

「悲しみを他者に語る」アンケート結果

平成26年12月6日

朱亀講師	水野講師
人は必ず死を迎えるでしょう、平等に。 先生のお話しの内で不本意に掛ける言葉の恐ろしさを知りました。 死の多くは、生きている人たちに向けられたどう対峙するかメッセージなののでしょうか？悲しみはこれでもか、これでもかと訪れる場合があるのですね。それを受け止められた先生、私は私がその立場だったら、果たしてと思うお話しでした。	いもとようこ氏の「かぜのでんわ」読んでみます。 生きている以上深い悲しみは1回いや数回は避けられないかも知れません。 先生の失う事が大切失う事によって知る事は必ずある語る事の大切いろいろな大切を教えて頂きました。 悲観的な人と楽観的な人の比較は面白かった。 有難うございました。 男性
感動の一言です。 水野先生の話聞いてから頑張ってくださいとは言えません。どうぞお体を大切に。	水野先生に久々お逢い出来てうれしく、とても良いお話を聞かせて頂き有難うございました。 匿名
無いものを教えるよりあるものを教えて行けばよい（良い言霊）に思います！ 信じていた「世界」の崩壊→「共感的に聴いてくれる人」を探す。 2年の月日が要したんですね！ いつまでも「心の中」に生きていますよ！父母と夫様は！	若い人の死が多い・・・驚きだ！ 人間関係の断絶程恐ろしい→実感です。 故人の多くの贈り物一見つけてみようと思います！ 人生全体を再構築する作業のねらい 一人では生きていけない→他人の力—語る事→今日のセミナーで再発見しました。 今日は参加出来て本当に良かったです！ 弱い人ほど人の役に立つ・・・初めての新しい考え方でした。匿名
お話しをお聴きしながら、胸がいっぱいになり、涙が出ました。ご主人が遺された言葉や、朱亀さんご自身が探し出会った言葉のいくつものが、悲しみや失う事(失ったこと)の別の側面に気付かせてくれる視点となり、新たな意味を見出す糸口となり得る事に気付かされ、大変感銘を受けました。	「失うことは得る事以上に大事」という言葉を心に刻みましたが、すごい内容だと思います。 自分の人生、周囲の人の人生に起こるいくつもの出来事に対する見方が変わりました 自分の生を深める事が出来ると言う事を胸に、恐れずに生きたいと思いました。 女性
励ましの言葉ってないんだ。	自立老人の孤立死、私もいいと思います。 女性
「困難にある時、言葉の受容は抱きしめられるに等しい」この言葉を重く受け止めました。 悲しみの中、人にかける言葉を充分気をつけねばと思われました。 3人の思いを抱きこれからを、お身体気をつけて過ごして下さい。	一人は一人では生きていけない。— 誰かの語りかけに相手に思いを伝える。 今まわえりにも（周囲にも）病を抱え辛い思いの人が幾人もいます。誰もが体験するもの。心の準備をして行こうと思います。有難うございました。 女性

朱亀講師	水野講師
自然体で分かりやすく素直にうなづけました。	失っても自分の気持ちに生きている・・・ 背負い込むことの大切さを知り、逃げ始まった老年期に宿題のように思われた。匿名 72 歳
耳が悪い故かマイクがあまりはつきりせずよく分かりませんでした。文字が出ましたので大筋はわかりました。	こちらははつきり聞こえました。 自分が他者に対してどうしてきたか大いに反省しました、今後はまわりに誠実に生きたいと思います。匿名
失くしたのではなく有るものに目を向ける考え方次第という言葉が印象に残りました。喪失を体験した人は励まさなければいけないと思いがちで、それによってその人に苦痛を与えてしまう。寄り添うと言う事が相手にどう影響するのか相手がどのような寄り添いを求めているのか見極める事がだと思いました。	悲観主義の効用が深かったです。 女性
貴重なお話し（体験話し）有難うございました。	難しい内容を分かりやすく話して頂き有難うございました。匿名
「物事は何でも考え方次第」ですか？ 否「母の臨終時、笑ってくれたことが救いになったのです」と？いて参ります。	「われ以外皆師」と聞こえてきました。 男性
自分が悲しみの中喪失感でどん底にいる時、様々な励ましのことばに心が傷ついた経験がある。 励ましの言葉より、自分の話すことを共感的に聞いてくれた時は大きく救われたという事に胸に響きました。	他人の力をかりる、他人に自分の事を語る。そうする事が人の為であり自分の為にもなる。 人の痛みを共感することにつながるのではと思いました。 女性
3人との死別に一人生き残る、その辛さはいかばかりかと思います。	死に対して、冷静に語られることが、皆を元気にさせて貰えます。匿名
	いくつも教えられる事がありました。匿名
悲しみを他者に語る事によって、和らげられると言う事。その為、黙して聞く事の大切さを知りました。 今まで、どうしても自分の意見を言ってしまう自分がありました。 今後、本日の話を心していきたいと思いました。	男性